



2020年5月20日

各 位

株 式 会 社 関 門 海
代表取締役会長兼CEO 田 中 正
(コード番号：3372 東証第二部)
問合せ先 経営支援本部部長 岩本 匡史
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

連結業績予想と実績値との差異及び個別業績の前期実績値との差異、販売費及び一般管理費（個別）の計上、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

この度、2020年4月15日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期に下記のとおり販売費及び一般管理費（個別）、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しが発生することとなりましたのでお知らせいたします。

1. 2020年3月期 連結業績予想数値と実績値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	未定	円 銭
前回発表予想(A)	4,473	△183	△268		—
今回実績(B)	4,472	△185	△269	△478	△38.96
増減額(B-A)	△0	△2	△1	—	—
増減率(%)	△0.0%	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2019年3月期)	4,557	141	82	3	—

(差異の理由)

2020年4月15日に親会社株主に帰属する当期純利益を未定として公表しておりましたが、新型コロナウイルスの影響を受けたこと等による収益性の低下に伴い固定資産の減損損失85百万円等の特別損失の計上及び新型コロナウイルスの影響を受け翌年度の事業見直しに伴う繰延税金資産の取崩し95百万円等が発生したことにより親会社株式に帰属する当期純利益は478百万円の損失となりました。

2. 2020年3月期 個別業績の前期実績値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期（2019年3月期）実績（A）	百万円 1,761	百万円 171	百万円 117	百万円 32	円 銭 2.72
当期（2020年3月期）実績（B）	1,640	△93	△171	△490	△39.91
増減額（B - A）	△121	△265	△289	△523	—
増減率（％）	△6.9%	—	—	—	—

（差異の理由）

2020年3月期において完全子会社への債権に対する貸倒引当金 119 百万円を販売費及び一般管理費に計上したこと等により営業損失は 93 百万円、経常損失は 171 百万円となりました。加えて、下記記載の固定資産の減損損失 85 百万円、関係会社事業損失引当金 90 百万円を計上したほか、繰延税金資産 90 百万円の取崩し等が発生したことにより当期純利益は 490 百万円の損失となりました。

なお、貸倒引当金及び関係会社事業損失引当金の計上については、親子間取引のため連結財務諸表上においては相殺消去されております。

3. 販売費及び一般管理費の計上の内容

当社は、2020年3月期個別決算において、子会社への債権について子会社の財務状況を勘案し貸倒引当金 119 百万円を販売費及び一般管理費に計上いたします。

4. 特別損失の計上の内容

①連結決算

当社は、2020年3月期連結決算において、新型コロナウイルスの影響を受けたこと等による収益性の低下に伴い店舗の固定資産について、減損損失 85 百万円を特別損失に計上いたします。

②個別決算

当社は、2020年3月期個別決算において、新型コロナウイルスの影響を受けたこと等による収益性の低下に伴い店舗の固定資産について、減損損失 85 百万円を特別損失に計上いたします。また、子会社に対する事業の損失に備えるため関係会社事業損失引当金 90 百万円を計上いたします。

5. 繰延税金資産の取崩しとその内容

当社は、2020年3月期連結決算において、新型コロナウイルスの影響を受け翌年度の事業見直しに伴う収益悪化等から繰延税金資産の回収可能性を慎重に判断した結果、繰延税金資産を取崩すことといたしました。これにより 2020年3月期連結決算において法人税等調整額 95 百万円を計上いたします。

また、2020年3月期個別決算において、繰延税金資産 90 百万円を取崩し、同額を法人税等調整額として計上いたします。

以上